



車山・八島ヶ原湿原ウォーク

2025.08.24 10km 短縮4km+湿原散策

コースの概要

霧ヶ峰自然保護センターで一旦下車し、トイレを済ませて再度バスに乗り、車山肩に向かいます。車山肩(標高1840m)から歩き始め、車山湿原を左手に見ながら石ころのある斜面を登り蝶々深山(ちょうちょうみやま1836m)を目指します。物見岩からは下りになり、鎌ヶ池の手前でトイレ休憩です。休憩後しばらく歩くと八島ヶ原湿原に着きます。ここからは木道になり、種々の亜高山植物を堪能することができます。 八島ビジターセンター周辺で昼食後、旧御射山(もとみさやま)を経由し、ゴールの霧ヶ峰自然保護センターに向かいます。

今回のコースは急坂ではありませんが、岩がむき出しの場所や滑りやすい場所もありますので足元には十分ご注意ください。ストックのある方は使いましょう。脚に不安のある方は短縮コースを選択してください。

短縮コースは、車山肩で体操後、バスに乗って八島ビジターセンターに移動し、八島ヶ原湿原を散策、昼食後は普通コースメンバーと一緒にゴールを目指します。又は八島ビジターセンターからバスで霧ヶ峰自然保護センターに移動し、周辺を散策することも可能です。

参加者の皆様へ

- ・無断で単独行動をとらないようにしてください。
- ・主催者は、歩行中の事故について傷害保険に加入している他は応急措置以外の責任は負いません。
- ・スタート前には必ずトイレを済ませてください。
- ・原則として右側通行を遵守し、2列以内で歩きましょう。
- ・一般道を横切の場合は、役員の指示に従ってください。
- ・体調が悪くなったら遠慮せずに役員に連絡願います。
- ・高山植物をとらないようにしてください。

緊急時連絡

高戸 栄行 090-8135-3306

蜂須賀守政 090-3484-5226

霧ヶ峰自然保護センターや八島ヶ原湿原のトイレはチップ制です。1回100円を目安に料金箱に入れましょう。

コース *時間は計画

往路(バス) 富士宮駅南口==富沢IC==双葉JCT==八ヶ岳PA(WC)==諏訪IC==
6:00 7:30~40

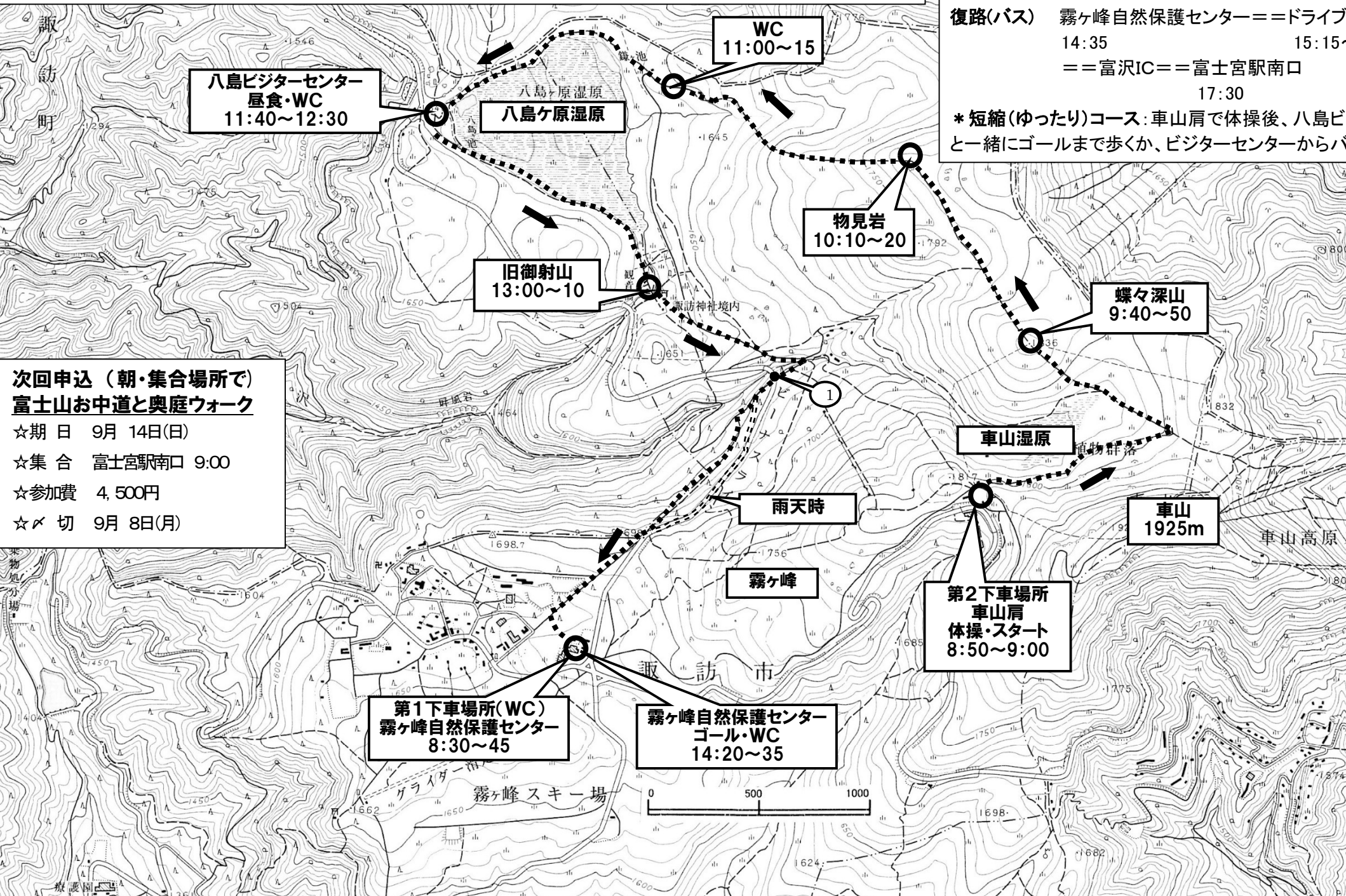
霧ヶ峰自然保護センター(WC)==車山肩(体操)
8:30~45 8:50~9:00

ウォーク 車山肩(スタート)・・・蝶々深山・・・物見岩・・・WC・・・八島ヶ原湿原・・・
9:00 9:40~50 10:10~20 11:00~15

八島ビジターセンター(昼食・WC)・・・旧御射山・・・霧ヶ峰自然保護センター(ゴール・WC)
11:40~12:30 13:00~10 14:20~35

復路(バス) 霧ヶ峰自然保護センター==ドライブインおぎのや(WC)==諏訪IC==双葉JCT
14:35 15:15~40
==富沢IC==富士宮駅南口
17:30

*短縮(ゆったり)コース:車山肩で体操後、八島ビジターセンターに移動し、八島ヶ原湿原を散策。午後は普通コースメンバーと一緒にゴールまで歩くか、ビジターセンターからバスで霧ヶ峰自然保護センターに移動し、周辺を散策する。



次回申込 (朝・集合場所で) 富士山お中道と奥庭ウォーク

☆期 日 9月 14日(日)
☆集 合 富士宮駅南口 9:00
☆参加費 4,500円
☆切 9月 8日(月)

車山高原

車山高原は車山(1925m)を主峰とし、鉄平石に代表される安山岩の活動によって台地が形成され、さらに何回かの火山活動の溶岩でいっそう平坦なアスピーデ型(盾状)火山のような形をとっている。霧ヶ峰・蝶々深山・白樺湖によって囲まれた火山高原で、車山の稜線と緩やかに伸びる丘陵、そして比較的急な斜面から形成された林や川なども加わり、変化にとんだ様相を呈している。

八島ヶ原湿原

日本最南の高層湿原であり、1年に1mm堆積する泥炭層は厚さ8mを超え、360種もの植物が自生するなど湿原研究で世界的に有名なJensen博士が「これほど見事なものは世界中でベルギーに1か所あるのみだ。」と絶賛したまれにみる貴重な高層湿原である。

高層湿原

枯れた植物が微生物に食べられて流されてしまい、泥炭層が水面より上に発達しない湿原を低層湿原、これに対し水面より高く泥炭層が成長した湿原を高層湿原という。高層湿原の形成には、湿度が高い・池の水に微生物が少ない、そして低温・貧栄養・酸性であるといった複数の条件が必要である。

旧御射山(もとみさやま)遺跡

鎌倉時代、豊作を祈る祭礼などの際に神事として鹿を狩ったり、武術を競い合った日本最古の競技場遺跡。階段状の観客席が残っている。